

第4回シリア・フレンズ閣僚級会合議長声明(骨子)

シリア危機に対する国際社会の強い意志の表れである、130を超える国、シリア反体制派、国際機関、地域機関、NGOからの代表が参加。次回会合は、イタリアで開催予定。

1 暴力の即時停止を要請

4万人以上の死者、人道・難民危機が発生しており、シリア政権に対して暴力の即時停止、居住区からの軍の撤退、全ての側に対して国際人道法を遵守するよう呼びかけ。

2 シリアの主権及び領土一体性

シリアにおける主権、独立、国家及び領土の一体性を保証。

3 シリアの危機が拡散しないよう警告

シリアの危機が地域・近隣諸国に拡散するおそれがあるとし、NATO がトルコ国境沿いに迎撃ミサイルを設置することを含め、こうした危機拡散防止への取り組みを支持。

4 国際社会の責任

国連総会、人権理事会、アラブ連盟、イスラム諸国機構などの決議を歓迎。他方、国連安保理に対してその責任を果たすよう呼びかけ。

5 政治的解決の慫慂

ブラヒミ国連・アラブ連盟共同特別代表の取り組みを支持、ジュネーヴ・コミュニケなどに基づいた政治的解決を呼びかけ。

6 「シリア国民連合」の承認及び民主的移行達成のためのメカニズム

「シリア国民連合」の設立を歓迎、包括的な政治機構の整備を要請。参加者は、「シリア国民連合」を「シリアの人々の正当な代表(the legitimate representative of the Syrian people)」であり、シリア反体制諸派の上部組織と認めた(acknowledged)。

7 シリアにおける人権侵害の停止及びシリア人主導の正義の確立

すべての当事者に人権及び人道に関する国際法を遵守するよう要請。人権理事会の関連決議を歓迎し、独立調査員会の作業を支持。生物化学兵器のいかなる使用も、国際社会としての深刻な対応を余儀なくされ得る。

8 制裁

11月30日のアジアで初の開催となる東京での第5回制裁 WG 会合の結果を歓迎。制裁はシリアの市民を対象とはしておらず、経済的困窮はシリア当局の政策の帰結であり、シリア政府及び関係者に対する資産を凍結することの重要性を確認。

9 シリア人の苦難の緩和

約250万人の国内避難民及び50万人以上の国外におけるシリア難民に対する国際社会の支援を呼びかけ。「シリア国民連合」内の支援調整ユニット(ACU)と協力し、シリア国内の地方評議会などを含むネットワークを通じて、支援ニーズに迅速に対応していくことに合意。また同ユニットの活動資金を増強していく姿勢を示した。

10 復興と平和構築

信託基金の設立を含め、シリアの復興期に向けた準備を行うことの重要性を確認。シリア反体制諸派が持続可能な移行プロセスに向け協力していくことを奨励。

(了)